

平成 27 年 度
(2015 年度)

当初予算の概要

◇ 予 算 規 模	1
◇ 一般会計予算の概要	2
1. 歳 入	
2. 歳 出(目的別)	
3. 歳 出(性質別)	
4. その他の資料	
◇ 【平成27年度予算の主要事業】	7

高 崎 市

予 算 規 模

- ・ 一般会計 **1,590億6,000万円**（前年度1,552億円、38億6,000万円の増）
- ・ 特別会計 **803億1,942万円**（前年度735億8,193万円、67億3,748万円の増）
- ・ 水道事業会計 **101億9,564万円**（前年度103億1,061万円、1億1,497万円の減）
- ・ 公共下水道事業会計 **144億3,385万円**（前年度144億684万円、2,701万円の増）
- ・ 総予算 **2,640億891万円**（前年度2,534億9,938万円、105億952万円の増）

〈各会計別予算〉

会 計 別	平成 2 7 年度予算額	平成 2 6 年度予算額	増減率
一 般 会 計	1,590 億 6,000 万円	1,552 億 円	2.5
特 別 会 計	803 億 1,942 万円	735 億 8,193 万円	9.2
国民健康保険事業特別会計	436 億 3,169 万円	392 億 9,157 万円	11.0
介護保険特別会計	308 億 3,949 万円	284 億 1,890 万円	8.5
牛伏ドリームセンター事業特別会計	1 億 1,803 万円	1 億 1,000 万円	7.3
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	7,418 万円	7,393 万円	0.3
後期高齢者医療特別会計	40 億 7,309 万円	40 億 2,066 万円	1.3
簡易水道事業特別会計	1 億 2,314 万円	1 億 2,821 万円	△ 4.0
農業集落排水事業特別会計	1 億 5,351 万円	1 億 5,634 万円	△ 1.8
駐車場事業特別会計	4 億 7,049 万円	5 億 3,798 万円	△ 12.5
土地取得事業特別会計	8 億 3,579 万円	8 億 4,435 万円	△ 1.0
小 計	2,393 億 7,942 万円	2,287 億 8,193 万円	4.6
水道事業会計	101 億 9,564 万円	103 億 1,061 万円	△ 1.1
公共下水道事業会計	144 億 3,385 万円	144 億 684 万円	0.2
合 計	2,640 億 891 万円	2,534 億 9,938 万円	4.1

※万円未満四捨五入。計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

一般会計は2.5%の増

- ・ 箕郷第三保育園改築(△2.5億円)、人道橋整備(△3.8億円)、東部小学校屋内運動場建設(△3.5億円)、中学校空調設備整備(△3.8億円)の終了や、新斎場建設(△9億円)などによる減額
- ・ 子ども・子育て支援新制度への移行(+8.2億円)や、学校校舎耐震補強(+19.7億円)などによる増額

特別会計は9.2%の増

- ・ 国民健康保険事業特別会計における保険財政共同安定化事業拠出金の増額、及び介護保険特別会計における給付費の伸びによる増額

一般会計予算の概要

1. 歳入

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度		平成26年度		増 減 額	伸び率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 市 税	57,546,476	36.2	57,528,620	37.1	17,856	0.0
2 地方譲与税	1,140,001	0.7	1,170,001	0.7	△ 30,000	△ 2.6
3 利子割交付金	90,000	0.1	100,000	0.1	△ 10,000	△ 10.0
4 配当割交付金	80,000	0.1	80,000	0.1	—	—
5 株式等譲渡所得割交付金	21,000	0.0	21,000	0.0	—	—
6 地方消費税交付金	5,600,000	3.5	4,100,000	2.6	1,500,000	36.6
7 ゴルフ場利用税交付金	120,000	0.1	150,000	0.1	△ 30,000	△ 20.0
8 自動車取得税交付金	180,000	0.1	180,000	0.1	—	—
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	41,831	0.0	44,026	0.0	△ 2,195	△ 5.0
10 地方特例交付金	210,000	0.1	210,000	0.1	—	—
11 地方交付税	15,300,000	9.6	15,800,000	10.2	△ 500,000	△ 3.2
うち普通交付税	13,500,000	8.5	14,000,000	9.0	△ 500,000	△ 3.6
12 交通安全対策特別交付金	90,000	0.1	100,000	0.1	△ 10,000	△ 10.0
13 分担金及び負担金	1,300,831	0.8	1,842,894	1.2	△ 542,063	△ 29.4
14 使用料及び手数料	3,072,973	1.9	2,591,323	1.7	481,650	18.6
15 国庫支出金	19,075,938	12.0	16,984,821	10.9	2,091,117	12.3
16 県支出金	8,979,584	5.7	7,245,945	4.7	1,733,639	23.9
17 財産収入	335,426	0.2	311,144	0.2	24,282	7.8
18 寄附金	10,006	0.0	7	0.0	9,999	142,842.9
19 繰入金	3,819,211	2.4	4,280,334	2.7	△ 461,123	△ 10.8
うち財政調整基金繰入金	2,200,000	1.4	2,940,000	1.9	△ 740,000	△ 25.2
20 繰越金	1	0.0	1	0.0	—	—
21 諸収入	28,207,722	17.7	28,831,484	18.6	△ 623,762	△ 2.2
22 市 債	13,839,000	8.7	13,628,400	8.8	210,600	1.5
うち臨時財政対策債	5,300,000	3.3	6,000,000	3.9	△ 700,000	△ 11.7
合 計	159,060,000	100.0	155,200,000	100.0	3,860,000	2.5

- ◆ 市税収入は、575億4,647万円を計上しました。個人市民税は、給与所得及び労働人口の微増を見込み、前年度対比2.1%増の199億4,302万円、法人市民税は、税制改正による税率引き下げが行われる一方で、景気が回復傾向にあることから、前年度対比3.9%増の58億2,231万円、固定資産税は、地価の下落や評価替に伴う在来分家屋の減価が見込まれることから、前年度対比2.7%減の234億4,752万円を見込みました。
- ◆ 地方消費税交付金は、改正後の消費税率が年度を通じて適用されることから、前年度対比36.6%増の56億円を見込みました。
- ◆ 普通交付税は、国が示す地方財政対策を考慮し、前年度対比5億円減の135億円を見込みました。
- ◆ 基金繰入は、財政調整基金から22億円(前年度29.4億円)、減債基金から7億円(前年度7億円)のほか、地域振興基金から5億円(前年度5億円)、都市集客施設等建設基金から2億円(前年度0円)等を見込みました。
- ◆ 市債は、浜川運動公園拡張整備及び学校校舎耐震補強事業などの実施により建設事業債は増加するものの、臨時財政対策債は国が示す地方財政対策を考慮し減少を見込み、前年度対比2.1億円増の138億3,900万円としました。

2. 歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区 分	平成 2 7 年度		平成 2 6 年度		増 減 額	伸び率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 議会費	763,605	0.5	743,576	0.5	20,029	2.7
2 総務費	12,917,494	8.1	12,394,347	8.0	523,147	4.2
3 民生費	49,371,484	31.0	46,653,994	30.1	2,717,490	5.8
4 衛生費	9,711,062	6.1	10,310,997	6.6	△ 599,935	△ 5.8
5 労働費	174,398	0.1	192,391	0.1	△ 17,993	△ 9.4
6 農林水産業費	2,493,224	1.6	2,565,307	1.7	△ 72,083	△ 2.8
7 商工費	26,402,763	16.6	27,344,476	17.6	△ 941,713	△ 3.4
8 土木費	23,365,409	14.7	22,959,055	14.8	406,354	1.8
9 消防費	4,207,682	2.6	4,203,220	2.7	4,462	0.1
10 教育費	16,712,104	10.5	14,759,143	9.5	1,952,961	13.2
11 災害復旧費	5	0.0	5	0.0	—	—
12 公債費	12,640,770	8.0	12,773,489	8.2	△ 132,719	△ 1.0
13 予備費	300,000	0.2	300,000	0.2	—	—
合 計	159,060,000	100.0	155,200,000	100.0	3,860,000	2.5

- ◆ 総務費は、定年退職者の減少や箕郷文化会館改修工事が終了する一方で、選挙や国勢調査の実施などにより、前年度対比5億2,314万円、4.2%の増額となっています。
- ◆ 民生費は、箕郷第三保育園改築事業終了の一方で、子ども・子育て支援新制度への移行や臨時福祉給付金給付事業の実施などにより、前年度対比27億1,749万円、5.8%の増額となっています。
- ◆ 衛生費は、水痘個別予防接種委託料などが増額となる一方、新斎場建設事業が減額することなどにより、前年度対比5億9,994万円、5.8%の減額となっています。
- ◆ 商工費は、ビジネス立地奨励金や中小企業等機械設備導入支援助成金が増額となる一方、金融事業預託金が減額となり、前年度対比9億4,171万円、3.4%の減額となっています。
- ◆ 土木費は、人道橋や上信電鉄新駅設置事業の終了などにより減額する一方、前橋長瀬線(県道分)街路事業や浜川運動公園拡張整備事業が増額となることなどから、前年度対比4億635万円、1.8%の増額となっています。
- ◆ 教育費は、中学校空調設備整備が減額となる一方、学校校舎の耐震補強事業の増額などにより、前年度対比19億5,296万円、13.2%の増額となっています。
- ◆ 公債費は、平成16年度借入の減税補てん債の償還終了などにより、前年度対比1億3,272万円、1.0%の減額となっています。

3. 歳出(性質別)

- ・ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費… 636億5,130万円、前年度対比2.7%の増
- ・ 建設事業などの投資的経費… 206億5,105万円、前年度対比6.4%の増

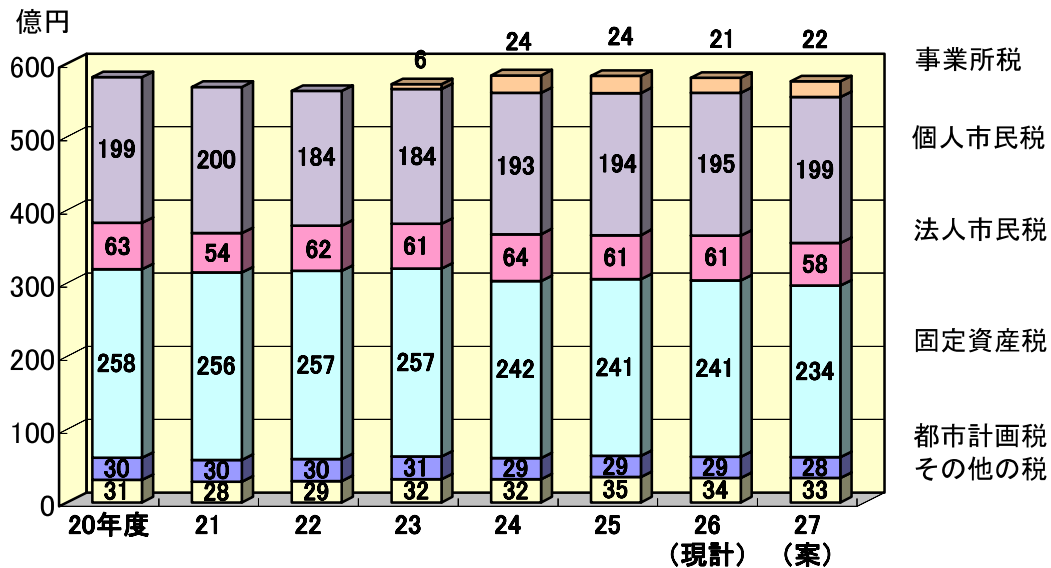
(単位：千円、%)

区 分	平成27年度		平成26年度		増 減 額	伸び率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
(1) 義務的経費	63,651,296	40.0	61,980,817	39.9	1,670,479	2.7
① 人件費	21,411,652	13.5	21,082,422	13.6	329,230	1.6
② 扶助費	29,598,792	18.6	28,124,906	18.1	1,473,886	5.2
③ 公債費	12,640,852	7.9	12,773,489	8.2	△ 132,637	△ 1.0
(2) 投資的経費	20,651,046	13.0	19,402,162	12.5	1,248,884	6.4
① 普通建設事業	20,651,041	13.0	19,402,157	12.5	1,248,884	6.4
補助事業	10,923,723	6.9	8,064,815	5.2	2,858,908	35.4
単独事業	8,540,194	5.4	10,994,151	7.1	△ 2,453,957	△ 22.3
国直轄事業負担金	13,600	0.0	50,000	0.0	△ 36,400	△ 72.8
県営事業負担金	1,173,524	0.7	293,191	0.2	880,333	300.3
② 災害復旧事業	5	0.0	5	0.0	—	—
(3) その他経費	74,757,658	47.0	73,817,021	47.6	940,637	1.3
① 物件費	18,712,993	11.8	17,856,257	11.5	856,736	4.8
② 補助費等	20,197,137	12.7	20,015,255	12.9	181,882	0.9
③ 貸付金	24,746,214	15.6	25,464,194	16.4	△ 717,980	△ 2.8
④ 繰出金	8,837,099	5.5	8,250,589	5.3	586,510	7.1
⑤ その他	2,264,215	1.4	2,230,726	1.5	33,489	1.5
合 計	159,060,000	100.0	155,200,000	100.0	3,860,000	2.5

- ◆ 人件費は、定年退職者の減少により退職手当が減額となる一方、選挙や国勢調査に係る経費などの増額により、前年度対比3億2,923万円、1.6%の増額となっています。
- ◆ 扶助費は、生活保護扶助費や子ども・子育て支援新制度移行に伴う施設型給付費などが増額となり、前年度対比14億7,389万円、5.2%の増額となっています。
- ◆ 普通建設事業は、人道橋整備や中学校空調設備整備事業の終了などにより減額する一方、学校校舎の耐震補強工事費が増額することなどにより、前年度対比12億4,888万円、6.4%の増額となっています。
- ◆ 物件費は、社会保障・税番号制度に係るシステム整備や予防接種の範囲拡大により各委託料が増額することなどにより、前年度対比8億5,674万円、4.8%の増額となっています。
- ◆ 繰出金は、国民健康保険事業特別会計における保険料軽減範囲の拡大や介護保険特別会計における給付費増加などにより、前年度対比5億8,651万円、7.1%の増額となっています。

4. その他の資料

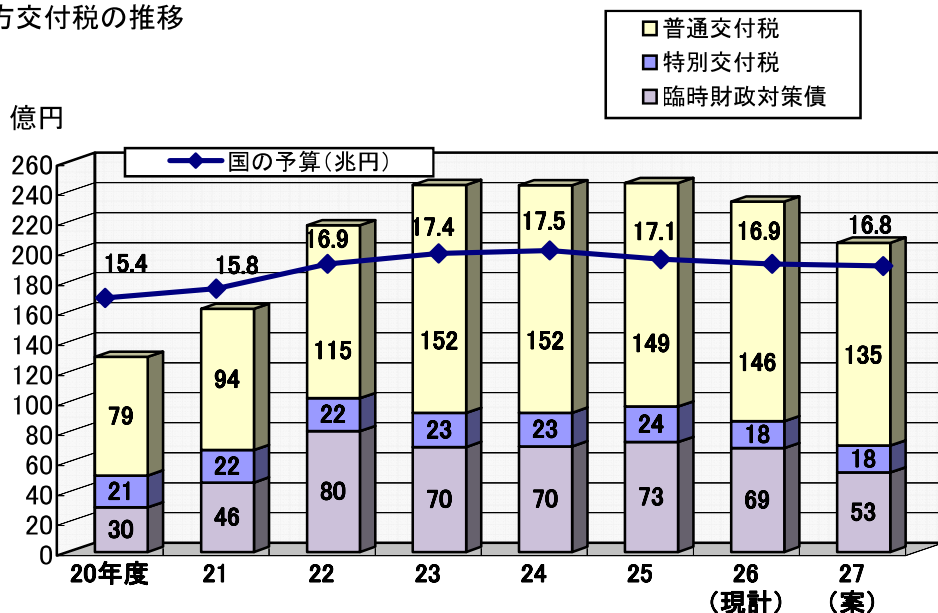
(1) 地方税の推移(見込み)



※過去の数値はすべて旧合併町村との合算額
※20年度から25年度までは決算ベースで算出

※26年度は現計予算ベースで算出
※27年度は予算(案)

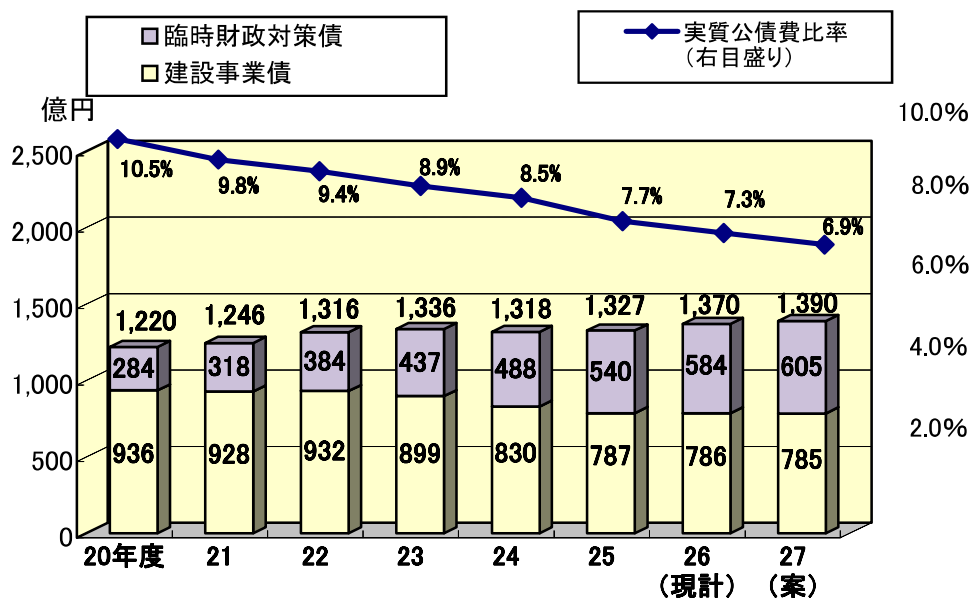
(2) 地方交付税の推移



※過去の数値はすべて旧合併町村との合算額
※20年度から25年度までは決算ベースで算出

※26年度は現計予算ベースで算出
※27年度は予算(案)

(3) 実質公債費比率と市債現在高(見込み)〔普通会計〕

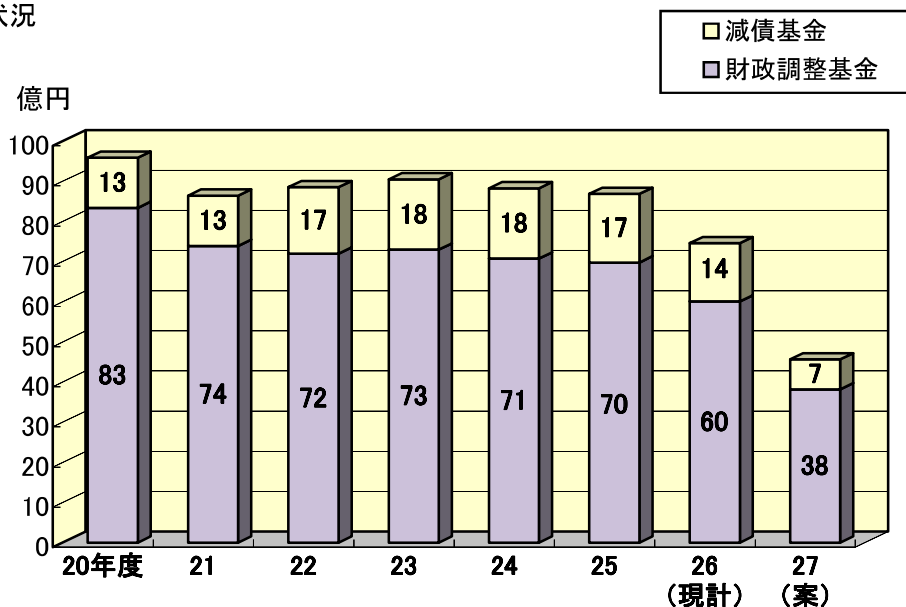


※市債現在高はすべての旧合併町村との合算額
 ※20年度から25年度までは決算ベースで算出

※26年度は現計予算ベースで算出
 ※27年度は予算(案)での推計値

・27年度末の建設事業債は785億円で、合併後最少額となっています。

(4) 基金の状況



※過去の数値はすべて旧合併町村との合算額
 ※20年度から25年度までは決算ベースで算出

※26年度は現計予算ベースで算出
 ※27年度は予算(案)

・26年度に基金が減少しているのは、大雪災害への対応によるものです。

【平成27年度予算の主要事業】

《教育と人づくり》

事業概要	予算額
(1) 学校施設の耐震化の推進 平成27年度末までに校舎・屋内運動場等の全ての耐震補強工事を終了する。 ・校舎等耐震補強工事 (小学校13校、中学校6校、特別支援学校等) ・体育館、武道場天井等落下防止対策工事等	千円 2,466,936
(2) 学校校舎等建設事業 老朽化した校舎等を改築し、児童・生徒の安全を確保し、教育環境を改善する。 ・箕輪小学校校舎建設 24,165 千円 ・中室田小学校屋内運動場建設 104,038 千円 ・並榎中学校屋内運動場建設 172,601 千円 ・高南中学校校舎建設 63,955 千円 ・新町中学校プール建設 6,391 千円 ・東小学校給食室改修 35,600 千円	406,750
(3) 学力アップ推進事業 地域や保護者と連携し、放課後や土曜日等を活用した学習会を開催し、算数・数学・英語を中心に基礎的、基本的な内容について学び、児童生徒の学習意欲の向上等を図る。	51,491
(4) スーパーグローバルハイスクール事業 高崎経済大学附属高校において、将来国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成するため、大学や企業と連携して事業を行う。	16,000
(5) スポーツの振興 ・浜川運動公園拡張整備事業 430,025千円 ソフトボール場、テニスコート場、サッカー・ラグビー場を整備し、災害時には避難地として活用する。 ・本郷スポーツ広場整備事業 23,000千円 芝張り及び野球グラウンドの整備等を行う。 ・企業スポーツ振興支援金 40,000千円 高崎市に残留するビックカメラ女子ソフトボール部の活動費の一部を助成し、市内スポーツの更なる振興、発展を図る。	493,025

《産業の振興》

事業概要	予算額
(1) 農業の振興（地産多消の推進） ・農業者新規創造活動事業補助金 100,000千円 新品種・新商品の開発、市内産農畜産物「高崎そだち」の普及宣伝活動および6次産業化、商工業者との連携など、農業分野で挑戦する市民を総合的に支援する。	千円 169,300

事業概要	予算額
- 農畜産物広報活動委託料 59,300千円 首都圏など他地域での消費拡大を更に推進していくため、戦略的な広報・宣伝活動を引き続き実施する。 - 農畜産物販売拡大奨励金 10,000千円 首都圏での「高崎そだち」の消費拡大を推進するため、首都圏の小売業者が「高崎そだち」を販売した際の売上高の5%を、奨励金として交付する。	千円
(2) 地元企業支援策 - 中小企業経営安定化助成 840,000千円 経営状況に応じた事業所税の納付額に対する助成 - まちなか商店リニューアル助成 350,000千円 市内の商店の魅力を高め、集客力の向上を図るため、店舗・のリニューアル費用の一部を助成する。 - 住環境改善助成の延長 100,000千円 居住環境の改善と市民生活の向上を図るため住宅の改修、修繕、模様替え等の工事費の一部を助成する。	1,290,000
(3) スマートＩＣ周辺整備事業 スマートＩＣ周辺地域の橋りょう等を整備する。	328,870

《文化と歴史を活かした創造的な高崎》

事業概要	予算額
(1) 上野三碑世界記憶遺産登録推進事業 上野三碑の世界記憶遺産登録実現に向けて知名度の向上を図るためのＰＲ活動等を行う。	千円 7,000
(2) 史跡の保存整備および調査 - 日高遺跡 39,123千円 国指定史跡 弥生時代の水田・住居・墓を含む集落遺跡 ＪＲ上越線北側部分の供用を開始する。またＪＲ上越線南側部分の実施設計を行う。 - 箕輪城跡 94,512千円 国指定史跡 中世（15世紀後半頃）築城の城郭（平山城） 土塁・サイン等の土木工事及び郭馬出西虎口（カクウマダシニシコグチ）門復元工事、本丸の実施設計を行う。 - 箕郷歴史文化調査研究事業 2,000千円 郷土史研究家による箕輪城の歴史文化に関する研究を地域の振興に繋げることを目指す。平成27年度は、箕輪城にゆかりの深い彦根城等の調査を実施する。 - 多胡碑周辺遺跡 7,910千円 多胡碑周辺に推定される古代多胡郡の郡衙等の遺構確認を目的とした発掘調査を行う。	143,545
(3) 山田かまち企画展 本市の生んだ芸術家「山田かまち」の企画展を高崎シティプロモーションに合わせ渋谷ヒカリエで開催する。	5,000

《やさしい眼差しに満ちた市政》

事業・概要	予算額
(1) 子育て関連支援事業 ・ 保育所緊急整備補助 487,644千円 待機児童「ゼロ」を継続するため、定員増を目的とした私立保育所等の施設整備に対する補助を拡充する。 ・ 保育所入所待機解消支援事業 95,000千円 年度途中からの入所困難な状況を解消するため、保育士の人件費の一部を補助する事業を引き続き実施する。 ・ 一時預かり、休日保育事業 34,375千円 ・ 病後児保育施設の拡充 83,926千円 施設数を増加するなど、事業の拡充を図る。 ・ 放課後児童クラブ運営支援 60,000千円 第3子以降の児童に対し、保育料を無料とする。 ・ 気になる子対策補助金 62,000千円 保育において支援を必要とする「気になる子」への対応として、保育環境の充実を図る。	千円 822,945
(2) 福祉の充実 ・ 地域包括支援事業の拡充 395,200千円 高齢者あんしんセンターを市内26か所に設置し、お年寄りが相談に来る体制から、お年寄りの元に訪問する体制へ転換。 ・ 高齢者等あんしん見守りシステムの拡充 179,606千円 ひとり暮らし高齢者等宅への緊急通報装置及び安否確認センサーを備えたあんしん見守りシステムを引き続き設置する。	574,806
(3) 救急医療体制の充実 ・ 救急患者受入促進補助金 75,000千円 救急搬送患者のたらい回しゼロと医療機関への平均収容時間の短縮を目指し、夜間及び休日昼間に救急搬送患者を受入れた救急告示医療機関に対し、受入実績に基づき補助金を交付する。 ・ 夜間薬局運営委託 18,000千円 市内において24時間365日の医薬品販売体制を整備するため、夜間の薬局の開設及び運営を委託する。	93,000
(4) 小児救急医療体制の充実 市内における24時間365日の小児救急医療体制を整備する。 ・ 小児救急医療体制整備補助金 25,000千円 (独) 国立病院機構高崎総合医療センターにおける小児救急医療体制整備に係る費用に対して補助を行う。 ・ 小児救急医確保業務委託 20,000千円 夜間における小児救急医療体制を整備するため、医師の確保等を委託する。 ・ 夜間小児救急医療体制整備等業務委託 15,000千円 群馬県小児救急医療支援事業(西毛小児輪番)による当番が市外の医療機関となる日において、市内でも夜間の小児救急診療を実施できる体制整備を委託する。	60,000
(5) 母子健康支援事業 ・ 不育症治療費の助成 3,000千円 妊娠するものの、結果的に出産に至らない方に対し、検査及び治療に係る費用を助成し、経済的負担の軽減を図る。 ・ 通院にかかる費用(交通費)に対する助成 6,000千円 小児慢性特定疾病患者の通院にかかる交通費に対し、新たな助成制度を創設。	9,000

《合併した地域の個性を活かした魅力づくり》

事業・概要	予算額
(1) 支所地域道路橋りょう維持補修工事 支所地域において積極的・弾力的な対応が図れるように、各地域2,000万円の予算を従来の予算に加えて計上。	千円 120,000
(2) 倉渕ふるさと住宅建設事業 若者や子育て世帯等の定住を促進するため住宅の整備を行う。	37,887
(3) 榛名地域スポーツ振興事業 ・榛名山ヒルクライム in 高崎 31,000千円 ・榛名湖リゾート・トライアスロン in 群馬 3,500千円 ・榛名湖マラソン 5,000千円	39,500
(4) 吉井中央公園（仮称）整備 吉井地区の中心市街地の住民が災害時等に速やかに避難できるよう、防災機能を備えた公園を整備する。 ・用地買収費及び水道管布設工事負担金	300,130
(5) 地域賑わいプロジェクト事業 地域に賑わいをもたらすために、まずは新町地域などにおいて、商店街の個性的な広報・宣伝事業を実施する。	5,000

《安心・安全な地域社会づくり》

事業・概要	予算額
(1) LED街路灯設置の推進 ・LED街路灯設置および電気料補助 【町内会】 平成25年度から実施してきたLED化の最終年度。 LED街路灯設置補助 27,000千円 補助率 3/4 （限度額 23,000円/灯） 予定件数 1,500灯 電気料金に対する補助 43,300千円 補助率：75%から80%へ拡大 【商店街】 計画してきた商店街の街路灯整備は全て完了。 LED街路灯設置補助 93,700千円 補助率 3/4 （限度額 新設：28万円/灯、交換23万円） 電気料金に対する補助 17,348千円 補助率：50%から60%へ拡大 ・市設置街路灯のLED化工事（更新予定数800灯） 21,000千円	千円 202,348
(2) 防犯カメラの設置 全市的な犯罪抑止とごみの適正排出を目的として、地域からの要望に応じ、小学校区ごとに防犯カメラ（290台分：上限5台）と、ごみステーション見守りカメラ（68台分）を設置する。	17,579

事業概要	予算額
(3) 防災対策の拡充 除雪など災害への対応強化や総合防災訓練の実施など防災対策の拡充。 - 消防団および女性防火クラブの活動服 28,800千円 - 防災スペシャリスト養成研修 639千円 - 除雪への対応強化 30,000千円 - 災害対策の実施 43,072千円 - 総合防災訓練 4,055千円	千円 106,566
(4) 新斎場建設事業 平成28年4月の供用開始に向け、建設工事を継続して行う。 平成26～27年度＝建設工事（債務負担行為） （平成26年度 2,784,413千円、平成27年度 696,103千円）	1,071,291
(5) 高浜クリーンセンター建替事業 高浜クリーンセンターの建替に伴い、環境に及ぼす影響について、調査及び予測・評価等を行うとともに、建替予定地の造成計画について検討を行う。	54,175
(6) グリーンベルト整備 通学路における児童の安全を確保するため、グリーンベルトの設置を継続して進める。	30,000

《大勢の人が歩き、賑わう街》

事業概要	予算額
(1) 文化事業の拡充 芸術文化活動の育成・促進や地域の文化活動を支援し、まちの賑わいを創出する。 - 地域活性化センター（高崎電気館）の運営 69,461千円 - 高崎光のページェント開催補助金 31,000千円 - 全国アマチュアミュージシャンフェスティバル等 30,000千円 - その他各種開催補助金等	千円 313,157
(2) 新たな観光施策 - 倉賀野古商家復活事業 6,341千円 中山道沿いにあるナマコ壁をみせる明治期の蔵造り商家を復活。中山道を散策する観光客の休憩と情報提供を図ることを目的に「倉賀野古商家おもてなし館（仮称）」を開館する。 - 名所旧跡案内板設置事業 10,000千円 各町内会に点在する様々な名所・旧跡などに住民目線のわかりやすい案内板を設置し、観光資源の再発見と地域振興を図る。 - 中央銀座アーケード再整備事業 23,900千円 平成26年2月の大雪により崩落した中央銀座アーケードで新たな賑わいを創出するために、再整備を行う。 平成27年度は設計及び地質調査を行う。	40,241
(3) 高崎駅東口周辺市街地再開発等事業 - 高崎駅東口栄町地区 - 高崎駅東口第九地区	330,600

事業概要	予算額
(4) 高崎文化芸術センター（仮称）建設事業 上信越と首都圏を結ぶ中心都市として、また「音楽のある街高崎」の新しいシンボルとして、多様なジャンルの音楽や舞台芸術を「鑑賞・創造・情報発信」する拠点となる高崎文化芸術センターを整備する。 ・実施設計、用地買収費及び物件移転補償 (5) 新体育館建設事業 市民スポーツの振興と、中心市街地の回遊性の向上による賑わい創出を図るため、全国規模のスポーツ大会・国際試合の誘致等、集客施設としての機能を持つ新体育館を整備する。 ・体育館建設等工事 (6) 観音山公園（カッパピア跡地）整備 都市環境の中で、市民が身近に自然に触れ合える重要な環境資源として、カッパピア跡地を中心に保全と活用整備を図る。 ・整備工事、ケルナー広場遊具設置工事 ・プール設置工事 (7) 和田橋運動広場改修 和田橋下流にある運動施設を拡張し、市民の交流やレクリエーション活動の場として緑豊かな環境を整備する。 (8) 空き家緊急総合対策助成金 年々増加する市内の空き家への総合的な対策として、老朽化した空き家の解体費助成や、利用可能な空き家を改修し、高齢者や子育て世代など地域住民が気軽に利用できるサロンとして活用する場合の改修費や家賃への助成などを引続き実施する。	千円 676,792 4,405,580 588,800 62,568 100,000